

令和4年度 経営計画書 市民生活部 部長 井上 剛

1 部の 使命	<p>私たち市民生活部は、地域とともに暮らす人々がいつまでも住み続けたいと実感できる賑わいのある「やぶぐらし」を市民力と職員力の融合による 地域の魅力の創出により実現します。</p> <p>【令和3年度評価】</p> <p>市民との協働により、すべての人が、性別や年齢に捉われることなく、お互いの人権を尊重し、一人ひとりの能力や個性を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向け「第4次養父市男女共同参画プラン」を策定した。次年度以降は、誰もが自分らしく暮らすことができるまちづくりを目指すため、各種施策に取り組む。</p>
---------------	--

2 それ まで の経 営評 価	<p>【令和3年度実績】</p> <p>○行政経営マネジメントの徹底／市民起点の施策形成を心掛けた</p> <p>○マイナンバーカード交付率アップ：令和3年度末交付率75％／75.7％達成</p> <p>△女性活躍の推進、ジェンダーギャップ解消 ：セミナー・研修会への参加者増／管理職セミナー1回</p> <p>△関係人口創出・拡大：移住施策を利用して移住した数25件／19件未達成</p> <p>△文化・芸術活動への市民参加者の増／コロナにより数値化は困難</p> <p>○地域の特色ある事業の開催／52事業開催</p> <p>△時間外勤務の削減：前年度に比較して時間数を減／157.9％増未達成</p> <p>○年休取得率の向上：1人 5日／年以上／8.2日／年達成</p> <p>【評価】</p> <p>経営目標に数値目標を設定していない項目があったため評価が困難であった。数値目標を設定した3項目のうち2項目で達成ができたが、1項目は未達成であった。</p> <p>【原因】</p> <p>マイナンバーカードの交付率は、全国でも上位となる目標設定であったものの、休日開庁（第2日曜日）をはじめ、臨時休日窓口の開設、また、1人からの出張申請サービスの実施などにより目標達成できた。（県1位、全国4位（市特別区2位））</p> <p>女性活躍の推進に向けたセミナー等は、コロナ禍の影響により計画通りに開催できず1回となり、また、移住施策を利用して移住した数についても、例年、京阪神で開催される移住相談会等が中止やリモート等となり、都市部において養父市の魅力を発信する機会が少なかった（出来なかった）ことから目標数値に達しなかった。</p> <p>地域の特色ある事業の開催については、コロナ禍であったものの感染防止対策を講じながら公民館（地域局）を中心として52事業を実施した。</p> <p>時間外勤務の削減については、衆院選・知事選の期日前投票によること、また、人事異動に伴う事務引継ぎ等により年度当初に多くなった部署があったこと、その他、斎場職員の土日勤務が多かったことなどから前年度と比較して時間数が大きく増となった。（対象職員は正規職員、月給支給の会計年度任用職員の55人）</p> <p>年休取得率の向上については、1人5日／年以上と定め取り組んだ結果、部正規職員（41人）の平均取得日数は8.2日／年であり、目標日数が低すぎた。</p> <p>【対応】</p> <p>目標数値の設定が低かった項目の年休取得日数は9日／年へ目標日数を見直す。</p> <p>数値目標を設定していなかった項目があったので、本年度の経営目標には数値目標を設定するとともに、市の経営目標の達成につながる事業及び数値目標とする。</p>
--------------------------------	---

<p>3 外部 環境</p>	<p>◎機会</p> <p>【政治】 デジタル社会へ著しく進展 男女共同参画、女性活躍の推進及びジェンダーギャップ解消への動き</p> <p>【社会】 若年層の田舎暮らし志向の高まり YBファブのオープンによる市民の関心と期待の高まり 多様な働き方への変化</p> <p>▼脅威</p> <p>【地域】 少子高齢化、人口減少により地域コミュニティが縮小（希薄化） 地域の課題解決を担う地域自治組織の活動が低迷（マンネリ化）</p> <p>【経済】 新型コロナの影響で地域経済が衰退 ウクライナショックによる経済的影響（石油、小麦などの高騰）</p> <p>【市民】 高齢化により地域の担い手の確保が困難 新型コロナの影響により芸術・文化活動が低迷 固定的性別役割分担意識がある</p>
------------------------	--

<p>4 内部 環境</p>	<p>○強み</p> <p>【経営】 使命が明確になり組織力の発揮が可能</p> <p>【政策】 女性の相談窓口の設置（ワンストップ窓口） 移住・定住施策が充実</p> <p>【市民】 マイナンバーカードの交付率が全国で上位</p> <p>【協働】 地域自治組織、NPO、各種団体など協働する組織の存在</p> <p>▽弱み</p> <p>【市民】 ニーズ把握が不十分（経験的である） 満足度調査ができていない</p> <p>【人材】 政策形成力、横断的な対応能力が不足</p> <p>【情報】 効果的な情報発信が不足</p> <p>【経費】 経常収支比率の上昇（財政力が脆弱）</p>
------------------------	---

<p>5 重要 経営 課題</p>	<p>【経営】 成果につながる部経営</p> <p>【政策】 デジタル社会に対応した基盤整備（マイナンバーカード交付促進と利活用） 大学等への進学により流出した若者世代のUターン促進 移住希望者のニーズに対応するため空き家バンクを充実 若者の定住につながる雇用機会の創出</p> <p>【情報】 子育て支援策や住宅支援策などの効果的な発信 働き方の変化に伴う移住地として選択してもらうための情報発信</p> <p>【地域】 地域の活性化と賑わいづくりの創出 連携と協働による活力あるまちづくりの推進</p>
-------------------------------	---

6 部の 経営 体制	<ul style="list-style-type: none"> ・所管課：市民課、やぶぐらし・地方創生課、人権・協働課、公民館、まちづくり文化交流課、養父地域局、大屋地域局、関宮地域局 ・人員：市民課13人、やぶぐらし・地方創生課5人、人権・協働課6人、養父地域局9人、大屋地域局9人、関宮地域局9人、公民館9人、まちづくり文化交流課4人 部長級2人、課長級6人、主幹21人、副主幹2人、一般職9人、技能職1人、再任用職員2人、会計年度任用職員21人 <u>合計64人</u> ・予算：部総予算額 1,416,509千円
---------------------	---

7 部の 経営 目標	<p>【柱①市民】</p> <p>A：移住施策を利用して移住した数 150人 B：ジェンダーギャップ解消に向けたセミナー、研修会の開催 4回 C：移住相談件数 880件 G：審議会などの女性委員の割合 30%以上 G：図書貸出利用者数 18,000人 J：文化・芸術活動への市民参加者の増：ホール利用者数 8,250人</p> <p>【柱②地域】</p> <p>D：地域自治組織との協働強化 地域担当チーム職員の活動延べ日数185人以上 G：地域の特色ある事業の開催 52事業（前年度事業数）以上 G：地域自治組織における多世代交流事業の推進 交流事業全体の40%以上</p> <p>【柱③公共】</p> <p>D：マイナンバーカード交付率 80%（令和4年度末） G：ふるさと納税寄附額 550,000千円</p>
---------------------	--

8 部の 経営 方針	<p>【経営】 市民起点の経営による信頼度、満足度の向上 まちづくり計画に沿った基本的施策の展開</p> <p>【組織】 臨機応変に対応できるアジャイル型組織へ変容</p> <p>【協働】 市民協働の積極的推進による地域力の拡大</p> <p>【人材】 対応力の強化と接遇の向上</p> <p>【改善】 エビデンスに基づく効果的な事業実施</p> <p>【財政】 費用対効果及び誘発効果を意識したワイズスペンディング（賢い支出）</p>
---------------------	--

<p>9 部の 重要 政策 の取 組内 容</p>	<p>柱①市民</p> <ul style="list-style-type: none"> 【継続】定住促進対策事業（移住定住相談支援事業）（事業費：37,200千円） 目標／移住相談件数 880件 【拡充】関宮地域局周辺整備事業（関宮地域小さな拠点整備事業）（事業費：70,000千円） 目標／旧関宮メリヤス工場の改修 令和5年3月末完成 【拡充】伝統芸能振興事業（事業費：6,754千円） 目標／せきのみや子ども歌舞伎公演入場者数 400人 【継続】ビバホールチェロコンクール推進事業（事業費：2,800千円） 目標／チェロリサイタル参加者数 延べ600人 【新規】文化会館・ホール運営事業（文化芸術創生事業）（事業費：34,935千円） 目標／ホール利用者数 8,250人 【拡充】図書整備事業（事業費：10,183千円） 目標／図書貸出利用者数 18,000人 <p>柱②地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 【継続】地域自治組織運営事業（事業費：102,004千円） 目標／地域担当チーム職員の活動延べ人数185人以上 【拡充】地域づくり支援事業（事業費：13,065千円） 目標／コミュニティ助成事業2地区、集会施設改修事業5地区 【継続】地域おこし協力隊活動事業（事業費：62,002千円） 目標／活動期間満了後の定着率60%以上 【拡充】おおやアート村拠点施設管理事業（事業費：11,846千円） 目標／10周年企画展来場者数 延べ3,000人 <p>柱③公共</p> <ul style="list-style-type: none"> 【継続】生活安全推進事業（事業費：5,247千円） 目標／防犯カメラ新設5基 【継続】戸籍住民基本台帳事務事業（事業費：5,906千円） 目標／マイナンバーカード交付率 80%（令和4年度末）
---	--